

●神奈川県立逗葉高等学校

# 教育最前線

連載 37

## 高校生が「Honda交通安全かるた」を活用して、幼児への交通安全教育を実践

「幼児への指導は私たちが初めてのことで、内容について逗子警察署

### か るたの札を題材に寸劇のストーリーを考案

9月11日、神奈川県立逗葉高等学校（神奈川県逗子市）の生徒が桜山保育園で3〜5歳の園児68名を対象に交通安全教室を行った。同校には各クラスの代表者で構成される交通安全委員会があり、生徒への交通安全啓発を担っている。交通安全委員会をまとめている長命俊一教諭は「これまでの委員会活動は生徒を対象にした『交通安全クイズ』の作成など校内だけでなく、校外に活動を広げたいと考えていました。そこで、当校と交流のある桜山保育園で交通安全教室を行うことにしたのです」と話す。交通安全教室の指導者役は交通安全委員会の中から有志を募り、1年生8名が参加することになった。



まもーくんとかるた取りをする桜山保育園の園児

「子どもたちに何かを伝えるためにはアニメに登場するようなキャラクターが欠かせないと思いました」と、逗子警察署が持っている牛の着ぐるみを使って「やくそくまもーくん」と名付けたオリジナルのキャラクターを設定。寸劇の題材となるかるたの札は幼児に守ってほしい交通行動の中から、3つ（下記参照）に絞り込んだ。「セリフも幼児が理解しやすい言葉を選んでいきます。また、話をするだけでなく、大きな動作で表現したり、子どもたちへの問いかけも盛り込むように意識しました」という。

交通安全教室が始まり、まもーくんが登場すると、園児から歓声が起こる。司会を務める生徒が「これから、まもーくんとかるた取りをしましょう」と園児に呼びかけ、園児の前に絵札が掲げられると読み札を読み上げる。まもーくんが「わかった人は手を上げて。ボクの代わりに誰か答えてくれるかな」と園児の代表者を指名

に相談したところ、「Honda交通安全かるた」のことに知りませんでした」と、長命教諭は生徒たちと、かるたの絵札に描かれた場面を題材にした寸劇を披露することにしました。

寸劇のストーリーづくりにあたって、8名の生徒は様々な工夫を凝らした。「子どもたちに何かを伝えるためにはアニメに登場するようなキャラクターが欠かせない」と、逗子警察署が持っている牛の着ぐるみを使って「やくそくまもーくん」と名付けたオリジナルのキャラクターを設定。寸劇の題材となるかるたの札は幼児に守ってほしい交通行動の中から、3つ（下記参照）に絞り込んだ。「セリフも幼児が理解しやすい言葉を選んでいきます。また、話をするだけでなく、大きな動作で表現したり、子どもたちへの問いかけも盛り込むように意識しました」という。

### 指 導者となることで交通安全への理解を深める

し、読み札に合った絵札を指差してもらう。

かるた取りの後は、取った札に関連した寸劇を生徒たちが披露（左記参照）。最後に、取った読み札を全員で唱和して終了した。

まもーくんを演じた小林篤史さんは「自分の話すことや演技の1つ1つに、子どもたちが素直に反応してくれる感動がありました。こうすればもっと喜んでもらえるのではないかと思うところもあり、機会があればまたチャレンジしたい」と感想を語る。「教える立場としての達成感とともに交通安全の重みを感じました」（島崎英輝さん）、「寸劇を通じて、自分自身も安全に気をつけなければいけないと再確認できました」（小林優夏さん）、「練習中は飽きられないか不安でしたが、子ども

たちが興味を持って見続けてくれたので安心しました」（山田百華さん）、「小さい子どもが自分の行動を見ているということを意識して、模範となるよう交通安全ルールを守ってほしい」と思いました」（市川舞葉さん）。

長命教諭は「生徒たちは、指導者役となることで交通安全ルールへの理解も深まり、人前で話したり演じたりする自信もついたと思います。120点をあげていいでしょう」と、今回の交通安全教室を評価する。

こうした逗葉高校の取組は、高校生に交通安全の必要性を考えさせる上で重要な観点といえるだろう。今回の活動は、11月に開催される神奈川県立高等学校PTA連合会の交通安全大会で交通安全委員が報告する予定だという。

「交通安全教室が始まり、まもーくんが登場すると、園児から歓声が起こる。司会を務める生徒が「これから、まもーくんとかるた取りをしましょう」と園児に呼びかけ、園児の前に絵札が掲げられると読み札を読み上げる。まもーくんが「わかった人は手を上げて。ボクの代わりに誰か答えてくれるかな」と園児の代表者を指名

### 「Honda 交通安全かるた」を題材にした寸劇



#### さ 最初から チカチカしてたら 待ちましょう

歩行者用信号の赤信号役の女子生徒と青信号役の男子生徒が登場。司会役の生徒が「赤と青、どちらが上にあるか知っている？」と問いかけると、園児は「赤」と答える。赤信号はお姉ちゃん、青信号は弟という設定で寸劇が進む。青信号は「ボクはお姉ちゃんと違って顔が2つあるんだ。青い顔だけじゃなくて、それがついたり消えたりチカチカする顔、チカちゃんになるんだよ」という。まもーくんが「チカちゃんの時も青だし、渡っていいよね」というと、園児は「ダメ」という声を上げた。すると、赤信号は「チカちゃんは、すぐ私になるという合図だから、止まらないといけないんだね」と説明。



#### む 向こう側 友だちいても 飛び出すな

道路の向こう側にいる友だちに声をかけられた女の子が左右を確認しないで走り出すと、クルマ役の生徒とぶつかってしまう。まもーくんが「ボクだったら先にある横断歩道まで行ってクルマが来ないか確かめてから渡るよ」とアドバイス。



#### よ よく見よう 青信号で 右左

歩行者用信号が青に変わったとたんに走り出す女の子に「曲がってくるクルマがないか確かめてから渡ろう」とまもーくんが注意を促す。



「交通安全教室に協力した交通安全委員の有志8名」という。今回の交通安全教室で使用した「Honda 交通安全かるた」の詳細や購入方法などは以下のホームページを参照。  
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/karuta/



今回の交通安全教室に協力した交通安全委員の有志8名